

哲 学 法 学

教 授 田 辺 正 英
(8月から副学長)

◆ 研究概要

- 1) 人間における実存と安らぎの問題
- 2) 日本仏教における親鸞や蓮如の思想を通しての罪や悪と救済の問題
- 3) キリスト教における罪と救済の問題
- 4) 西田哲学や田辺哲学の絶対無の問題

◆ 原 書

- 1) 田辺正英：哲学的懺悔（ざんげ）と宗教的懺悔（さんげ）—親鸞・田辺元・三木清をめぐって—富山医科薬科大学一般教育研究紀要10：1—13, 1988.
- 2) 田辺正英：哲学者たちの懺悔観—西田幾多郎・田辺元・三木清をめぐって—『存在』第4号：7—10, 1988. 北国出版社 金沢
- 3) 田辺正英：哲学と宗教における懺悔の構造—田辺哲学との関連から—『我聞如是』第4号：16—20, 1988. 富山仏教学会編 富山
- 4) 田辺正英：哲学的懺悔（ざんげ）と宗教的懺悔（さんげ）, 『宗教研究』, 275号, 第61巻第4輯, 203—204. 日本宗教学会編, 1988, 3. 東京

◆ 学会報告

- 1) 田辺正英：親鸞における懺悔と悲歎述懐—田辺哲学と対比して—, 日本宗教学会学術大会（第47回）, 1988, 9, 京都.

歴 史 学

助 教 授 小 沢 浩

◆ 著 書

- 1) 小沢 浩：「生き神の思想史——日本の近代化と民衆宗教」岩波書店, 1988.

◆ 原 書

- 1) 小沢 浩：民衆文化史のあり方. 歴史評論453：66—79, 1988.

◆ その他

- 1) 小沢 浩：「講」と「教団」, 「日本近代思想大系5宗教と国家」月報4, 4—6, 岩波書店, 1988.

助 教 授 阿 原 稔

◆ 研究概要

- 1) 従来からの(イ)「医療保障」論と、(ロ)「医(業)事法」の研究をおこなっている。前者は、社会保障法における医療保障の理念と体系を考察するものであり、後者は独自の法領域としての「医(業)事法」の体系化を意図するものである。

心 理 学

助 教 授 桜 井 芳 雄

◆ 研究概要

- 1) 動物の聴覚性作動記憶に関わるニューロン活動の定性的解析とマクロな神経回路網の同定.
- 2) 医学部精神神経医学講座との共同研究として、分裂病モデルラットの反応時間の測定.
- 3) 和漢薬研究所病態生化学部門との共同研究として、老化促進モデルマウスの記憶障害に対する和漢薬の効果の測定.

◆ 著 書

- 1) 久保田競, 桜井芳雄, 大石高生, 山下晶子訳：「ブレイン・コード 左右半球間の情報処理」Cook N.D.著, 紀伊國屋書店, 東京, 1988.

◆ 学会報告

- 1) 荻田善一, 黄愛萍, 鈴木健治, 桜井芳雄：S A Mマウスの記憶障害に対する和漢薬の効果. 第5回老化促進モデルマウス研究発表会, 1988, 3, 京都.
- 2) 葛野洋一, 倉知正佳, 桜井芳雄：パソコンを用いた反応時間測定—精神分裂病圏障害に関して—, 第110回北陸精神神経学会, 1988, 6, 金沢.
- 3) 桜井芳雄：ラットの音の作動記憶に関わるニューロン機構—皮質視床系と海馬系について—, 第52回日本心理学会, 1988, 10, 広島.
- 4) Sakurai Y.: Thalamocortical, hippocampal and auditory neuronal activities related to auditory working memory porcess in the rat. 17th Society for Neuroscience Annual Meeting, 1988, 11, Toronto, Canada.

◆ その他

- 1) 桜井芳雄：聴覚性記憶課題とニューロン活動. 文部省特定研究第3回夏のワークショップ, 1988,